

## TensorFlow2 TensorFlow&Keras 対応 プログラミング実装ハンドブック【正誤表】

### ●82 ページ以降のプログラムで使用する Matplotlib について

【注意】 外部ライブラリの Matplotlib につきましては、本書の 78~79 ページ記載の TensorFlow のインストール方法を参照して頂き、事前にインストールをお願いします。

### ●104 ページ サンプルコード 3-02-9 2 行目

【誤】 `plt.scatter(train_x_std, train_y)`

【正】 `plt.scatter(train_x_std, train_y_std)`

### ●106 ページ タイトル

【誤】 `tf.GradientDescentOptimizer` クラスで多項式の回帰問題を解く

【正】 `tf.GradientType` クラスで多項式の回帰問題を解く

※`GradientDescentOptimaizer` は TensorFlow バージョン 1 のものですので、本書ではバージョン 2 の `GradientType` を使用しております。

### ●104 ページ サンプルコード 3-02-9 4 行目

【誤】 `y_learned = final_b*train_x_std + final_w`

【正】 `y_learned = a*train_x_std + b`

### ●109 ページ サンプルコード 3-03-3 について

【注意】 学習率を、`learning_rate = 0.01` としていますが、状況によってはオーバーフローが発生し、変数の値が「nan」と出力されてしまうことがあります。この場合は、学習率を 0.001 などの小さな値に設定して頂くと、書籍の結果とは若干異なるものとなりますが、オーバーフローを起こさず、正常に学習が行えます。

### ●111 ページ サンプルコード 3-03-4 最終行のコメント

【誤】 `# x 軸の値として-3 から 3 までの等差数列を生成`

【正】 `# x 軸の値として-2 から 2 までの等差数列を生成`

### ●122 ページ ソースコード 7 行目のコメント

【誤】 `#2 列目のデータを t に代入`

【正】 `#3 列目のデータを t に代入`

### ●124 ページ 上の段のソースコード 3 行目のコメント

【誤】 `(float)更新後の重み w1,w2`

【正】 `(int)分類の結果として 1、または-1`

<本書紹介サイト>

<https://www.shuwasystem.co.jp/book/9784798063003.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>